

18世紀フランス宮廷音楽

Jean-Marie Leclair

ジャン=マリー=ルクレール

ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会

No.5

第3巻より第1番-第6番



*Violon
baroque*

小池 まどか
Madoka Koike



*Viole de
Gambe*

エマニュエル・
ジラルール
Emmanuel Girard



Clavecin

上羽 剛史
Tsuyoshi Uwaha

Sendai
2023. **11.11 sat.**

[開場] 13:30 [開演] 14:00

-仙台公演

ライブドーム スターダスト

980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2丁目5-18
カルラ本町ビル4F(海鮮厨房かに政宗上階)

-チケット(ワンドリンク付き)

[前売] 3,000円 [当日] 3,500円

プレイガイド: カワイ仙台/仙台三越

-お問い合わせ: マーベラス・スタジオ

TEL.090-2973-7958 MAIL: labmamall@ybb.ne.jp

Tokyo
2023. **11.12 sun.**

[開場] 13:30 [開演] 14:00

-東京公演

松本記念音楽迎賓館

157-0076 東京都世田谷区岡本2丁目32-15

-チケット

[前売] 3,500円 [当日] 4,000円

-お問い合わせ:

MAIL: madocastello@yahoo.co.jp

ジャン=マリー・ルクレール

ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会

第3巻より
第1番-第6番

No.5

Violon baroque

小池 まどか

Madoka Koike



仙台市出身。1996年宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業。日演連推薦新人演奏会にて仙台フィルと共演。仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団。2001年アフィニス財団の奨学金を得てドイツへ留学。帰国した頃からバロックヴァイオリンに興味を持ち始め、バロックヴァイオリンを若松夏美氏に師事。D.モンテ、A.モッチア、F.フェルナンデス、寺神戸亮各氏にレッスンを受ける。第20回国際古楽コンクール山梨第一位。及び栃木蔵の街音楽祭賞受賞。07年、オーケストラ・リベラ・クラシカ、バッハ・コレギウム・ジャパンなどに出演。仙台クラシックフェスティバルに古楽器アンサンブルとして出演。2015年よりモーツァルテウム音楽大学インスブルック・バロック講習会を受講し、R.ゲーベル、ヒロ・クロサキ、ミドリ・ザイラー各氏にレッスンを受ける。2017年より、仙台ジュニアオーケストラ講師、宮城学院中学校高等学校オーケストラ班弦楽部門指導。2018年より同附属音楽教室弦楽アンサンブル講師。2020年より宮城学院女子大学非常勤講師。

Viola de Gambe

エマニュエル・ジラルド

Emmanuel Girard

パリ・ソルボンヌ大学で美術史、ラングソー=フランス国立東洋言語大学で日本語を学び、パリ国立高等音楽院をチェロ、室内楽共にブルミエプリ(一等賞)で卒業。卒業後、同音楽院の古楽器科において、バロックチェロと通奏低音を学ぶ。チェリスト、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者として活躍。国際古楽コンクール(山梨)審査員。現在、桐朋学園大学音楽部において、特任教授としてバロックチェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、室内楽を、宮城学院女子大学音楽科非常勤講師として後進の指導を行っている。アンサンブル・マレッラを創設。CD録音は「バッハの無伴奏組曲全曲」「20世紀無伴奏フォークミュージック」「悪魔のフォルクレ」をリリース。レコード芸術はじめ、高評を得る。「シューベルトの室内楽曲集」を2019年リリース。



Clavecin

上羽 剛史

Tsuyoshi Uwaha

桐朋学園大学、アムステルダム音楽院を経て、ミラノ市立音楽院チェンバロ専攻を褒賞付最優等の成績を得て卒業。在学中は奨学生として音楽院の公式伴奏員をつとめたほか、ヨーロッパ各地でラ・ディヴィナ・アルモニア、イ・ボメリッジ・ムジカーリなどのアンサンブルと共演。ソロ奏者としてもミラノ古楽音楽祭「アルテ・ムジカ・ミラノ」にてリサイタルを行い好評を博した。2019年に完全帰国し、日本で演奏活動を本格的に再開している。アンサンブル「il Merlo」結成メンバー。「アントネッロ」メンバー。音楽教室「Studio nel Bosco」主宰。ルネッサンスからバロックまでのイタリア音楽を得意とするかわら、クラヴィコードや18世紀の鍵盤楽器オブリーガートのレパートリーにも関心があり、定期的に演奏会を行なっている。